八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会ニュース

令和８年１０月　第３号　八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会事務局

令和８年３月に策定した「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画（後期計画）」に基づき、八千代中学校と広野小学校の子どもたちのより良い教育環境を目指す「八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会」の３回目の会議を、８月２８日（金）に開催しました。



◆当日の議題

- ○　令和８年度児童生徒数推計について
- ○　スクールバスの運行状況について
- ○　意見交換

◆考えている方向性

以下のとおり、６通りの方向性を共有し、それぞれについて協議・検討を進めています。

	方向性	○	△
①	八千代中学校及び広野小学校 それぞれ存続	・地域に学校が残る ・きめ細かな指導を行える ・学年間の交流が生まれやすい	・小規模校化すると見込まれる ・教職員配置数が少ない ・部活動等に制約が生じる
②	八千代中学校と広野小学校との統合	・地域に学校が残る ・きめ細かな指導を行える ・学年間の交流が生まれやすい ・小中学校間の交流が促進される	・小規模校化すると見込まれる ・教職員配置数が少ない ・部活動等に制約が生じる ・統合の準備に時間を要する
③	八千代中学校と清川中学校の統合 広野小学校と清川小学校の統合	・学習活動や行事が充実する ・通学距離延長の負担増が少ない	・統合後も児童生徒数が少ない ・小規模校化すると見込まれる
④	八千代中学校、清川中学校、広野小学校、清川小学校の４校の統合	・学習活動や行事が充実する ・通学距離延長の負担増が少ない ・小中学校間の交流が促進される	・統合後も児童生徒数が少ない ・小規模校化すると見込まれる ・統合の準備に時間を要する
⑤	八千代中学校と川西中学校の統合 広野小学校と川西小学校の統合	・学習活動や行事が充実する ・適正規模を確保できる	・教室に余裕がない ・通学距離延長の負担が若干増える
⑥	八千代中学校、川西中学校、広野小学校、川西小学校の４校の統合	・学習活動や行事が充実する ・適正規模を確保できる ・開校予定の新しい学校に通える ・小中学校間の交流が促進される	・通学距離延長の負担が若干増える ・統合の準備に時間を要する

◆今後の通常学級在籍児童生徒数と通常学級数の推計

令和８年５月１日現在の、住所別・年齢別人口に基づいて行った最新の推計は、以下のとおりとなりました。

中学校

（単位：人・学級）

学校名	区　分	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
川西中	生徒数	112	119	126	136	135	118	108	105	107	93	77
	うち通常学級生徒数	95	102	110	122	121	105	96	93	95	82	67
	うち特別支援生徒数	17	17	16	14	14	13	12	12	12	11	10
	学級数	6	7	8	9	9	8	6	6	6	5	5
	うち通常学級数	3	4	5	6	6	5	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
清川中	生徒数	23	24	21	23	18	16	13	16	20	20	17
	うち通常学級生徒数	20	21	18	21	17	15	13	15	18	18	16
	うち特別支援生徒数	3	3	3	2	1	1	0	1	2	2	1
	学級数	5	4	4	4	4	3	2	4	4	4	4
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1
八千代中	生徒数	10	11	10	14	16	13	10	10	13	10	6
	うち通常学級生徒数	10	11	10	13	15	12	10	10	13	10	6
	うち特別支援生徒数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
	学級数	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	2
	うち通常学級数	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
	うち特別支援学級数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0

小学校

（単位：人・学級）

学校名	区　分	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
川西小	児童数	199	199	196	183	172	170	161	147	132	130	129
	うち通常学級児童数	168	170	166	153	147	145	137	125	112	111	110
	うち特別支援児童数	31	29	30	30	25	25	24	22	20	19	19
	学級数	11	11	11	11	10	10	10	9	9	9	9
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3
清川小	児童数	37	34	36	33	33	40	36	35	33	34	36
	うち通常学級児童数	31	28	29	27	28	34	32	31	29	30	31
	うち特別支援児童数	6	6	7	6	5	6	4	4	4	4	5
	学級数	4	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5
	うち通常学級数	3	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4
	うち特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
広野小	児童数	24	26	26	20	16	18	16	13	12	11	11
	うち通常学級児童数	20	21	21	17	14	16	15	13	12	11	11
	うち特別支援児童数	4	5	5	3	2	2	1	0	0	0	0
	学級数	5	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0

◆今後の検討予定

次回から、以下の予定で本格的な議論を行います。（回数は目安です。）

第４回 （10 月９日）	○学校のあり方について（続き） ○課題と対応方法について（続き） ○意見書のポイント・方向性の確認
第５回 （未定）	○意見書（案）について ○積み残しの整理



地域の皆様からのご意見をお待ちしています。
以下の事務局宛に、いつでもお寄せください。
二次元コードを読み取っていただき、入力フォームから意見をお寄せいただくこともできますので、ぜひご活用ください。

【事務局】
帯広市教育委員会　学校教育部学校地域連携課
〒080-8670　帯広市西５条南７丁目１（帯広市役所庁舎８階　担当　持田）
TEL：0155-65-4199（直通）　E-mail：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp